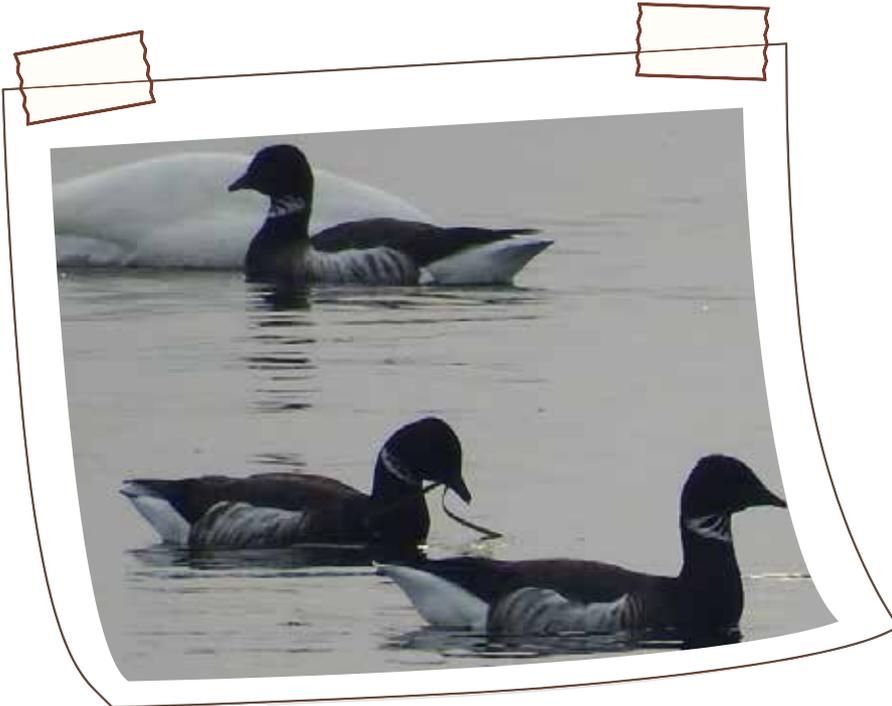




ネイチャーセンターだより

2018年11.12月号

新・いきもの図鑑



コクガン（カモ科）

体長61cmの小型のガンで、マガモと同じくらい大きさです。成鳥は、首のレース状の白いまだら模様（モヤ）が特ちょうです。繁殖地（はんしよくち）はロシアの北極海沿岸で、秋になると風蓮湖・野付半島・厚岸湾などの道東地方に約8,600羽が飛来し、そのうち約2,500羽が道南や東北地方など国内で越冬（えいとう）します。春に再び道東地方を通過し、繁殖地へ渡るコクガンは約3,100羽で、残りの約6,000羽はどこで越冬し、どのルート（たど）を辿るのかはわかっていません。そこでコクガン共同調査グループが、渡り途中のコクガンに衛星発信機（せいはいしんき）（GPS）を装着し、渡りのルート（さく）を探ろうと試みています。

【参考文献】

バードライフインターナショナル東京・道東コクガンネットワーク.2018.野付湾のコクガンの謎
河井大輔ほか.2014.北海道野鳥図鑑

キバシリ

漢字名：木走 Eurasian Treecreeper

10月21日 自然学習林の標柱24番付近の落葉樹（らくようじゆ）の幹の上でさえずっている姿を、東梅駐車場（とうばいちゆうしゃ）から確認しました。キバシリは留鳥で自然学習林では一年中見られます。ふだんは標柱15番付近の針葉樹の上で見ることが多いのですが、10月後半はネイチャーセンター付近の落葉樹（らくようじゆ）での目撃が続きました。繁殖期のさえずりは3月～4月によく聞かれます。



トピックス

見どころMAP

オジロワシやオオワシが、防波堤ブロックの上に止まったり、干潟に下りています。



エゾリスやキツキ類がツタウルシの実を食べます。

11月上旬はヤマブドウ、ハリギリ、ミズナラなどの紅葉・黄葉が見られます。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

11、12月の見どころ予報

- 凡例
- ◎ ぜったい見られる (と思う)
 - ちょっと気をつければ見られる
 - + よく気をつければ見られる
 - ・ めったに見られない



| | | | |
|---------------|-----|---|---|
| オオワシ オジロワシ | 11月 | + | 2017年のオオワシの初認日は10/20(風蓮湖槍昔地区) 春国岱では11/1に初確認。 |
| | 12月 | ○ | |
| タンチョウ | 11月 | ○ | 春国岱周辺には、2つがいと今年生まれの幼鳥が1羽いる親子、つがいはまだ形成していない若鳥数羽がいる。 湖面に氷が張ると、鶴居村などの給餌場に移動するが、2017年は暖冬で春国岱の氷が厚く張らず、移動しないつがいがいた。 |
| | 12月 | + | |
| オオハクチョウ | 11月 | ◎ | 2018年10月19日に実施した飛来数調査では、風蓮湖と温根沼合わせて1,200羽を確認。11月中旬頃が飛来数最大となる。風蓮湖に氷が張り始めると、厚岸湖や東北・北関東地方へ渡る。 |
| | 12月 | ○ | |
| カモ類 | 11月 | ○ | 特にヒドリガモ・オナガガモ・スズガモが多い。ほかにマガモ・ハシビロガモ・コガモ・クロガモ(沖)・ホオジロガモ・ウミアイサなどが見られる。オオハクチョウと同様に、風蓮湖に氷が張り始めると南の地方へ渡る。 |
| | 12月 | + | |
| カモメ類 | 11月 | ◎ | オオセグロカモメ多い・夏鳥のウミネコに代わって冬鳥のシロカモメ・ユリカモメ・ワシカモメが増えてくる。 |
| | 12月 | ○ | |
| 通年 | | | カラ類(ハシブトガラ・シジュウカラ・ヒガラ)・ゴジュウカラ・キバシリ キツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ) |
| 見どころ | | | 冬鳥のユキホオジロ・ハマヒバリが春国岱の草原へ渡ってくる年がある。ユキホオジロの初認記録は、2017年は11/15、2016年は11/12。ハマヒバリが見られるのはまれで、2016年11/27に4羽確認。その後12月に4回、2月に1回確認 |

最近の野鳥記録

ミツユビカモメ

10月7日 台風25号が変わった^{おんたいていきあつ}温帯低気圧が通過中の^{つうかちゆう}激しい^{はげ}風雨^{ふうう}の中、14:30～15:40ごろ 約30羽がオオセグロカモメ、ウミネコ、カモメ、ワシカモメと共に^{しゅんくにたいわん}春国岱湾からネイチャーセンター前面の海面にかけて何度も飛んでいました。成鳥・幼鳥の両方がいました。

10月16日 8:30～10:40 11羽+ ^{しゅんくにたいちゆうしゃじょう}春国岱駐車場の^{おきあい}沖合^{なかす}の中洲で、オオセグロカモメ、ウミネコ、シロカモメ、セグロカモメと共に休んでいました。

ミツユビカモメは沖合に生息するといわれていますが、根室では半島の漁港で秋～冬に比較的よく見られます。しかし春国岱ではまれで、2012年～2017年の記録は1シーズンに多くて2回、記録0の年もありました。

過去の記録

2014年 2月2日、12月18日、27日

2015年 10月10日

2016年 1月25日

2017年 3月28日

2018年 10月7日、16日



ミサゴ

根室地方では数の少ない夏鳥。10月に春国岱では下記のように複数回、記録されました。いずれも、中谷地の上空で停空飛翔（ホバリング）を繰り返していました。

10月5日（1羽）、12日（1羽）、20日（1羽）
23日（1羽）、27日（2羽）

オオバン

根室地方では数の少ない冬鳥。ネイチャーセンターの窓辺のスコープで、眼下に見える前浜湿地の池にいるのを連日確認しました。

少なくとも2羽はいます。（初確認）10月21日


^{しゅんくにたい}春国岱クイズ

今年の6月に^{しゅんくにたい}春国岱で、日本最大のキツツキ、クマゲラが6年ぶりに観察されました。クマゲラはアイヌの人たちからは「チプタ・チカプ・カムイ」と呼ばれていますが、さてこの「チプタ・チカプ」とは、どういう意味でしょうか？

- ① クマのいどころを教えてくれる鳥
- ② 道案内をしてくれる鳥
- ③ ^{ふね}舟^ほを彫る鳥



イベント情報！

お問合せ・お申込みはネイチャーセンターへ
お申込み方法は直接・電話・メールでお願いします（連絡先は下記に）
お申込み時は参加者全員のお名前、ご連絡先、小・中・高生は学年をお知らせください



フィールド講座 1 クマガエラが森を育てる？ - その生態と大事な役割 -

11月18日（日）
13：30-15：30

春国岱で今年6年ぶりに確認された日本最大のキツツキ。道南地方でクマガエラの研究をしていた現・日本野鳥の会レンジャーが生態についてお話しします

対象／中学生～大人
定員／40名（先着）※11/16までにお申込みください
会場／春国岱ネイチャーセンター2階
持ち物／筆記用具
講師／荒哲平さん（公財）日本野鳥の会 保全プロジェクト推進室

オオハクチョウ観察会

12月2日（日）
10：00-12：00

今年もオオハクチョウやカモが風蓮湖に渡ってきました！
水鳥の行動を観察し、渡り鳥の生活についてお話しします

対象／バードウォッチングに興味のある小学生～おとな
（初心者歓迎・小学生は保護者のかたが、同伴してください）
定員／20名（先着）※11/30までにお申込みください
集合・解散／道の駅スワン44ねむろ
持ち物／野外で活動できる暖かい服装・筆記用具・お持ちのかたは双眼鏡
参加費／100円（保険代）

* 荒天延期 12/9

フィールドマナーを守って

自然と他の利用者にご配慮ください

1. 観察路から外れないようにしてください
2. 動植物の採取や捕獲はしないでください
3. ゴミはお持ち帰りください
4. 所定の場所以外での喫煙はできません
5. 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
6. キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください。



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp 最新情報はFBをご覧ください

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆休館日：11月5・7・14・21・26・28日（開館9：00-16：30）

12月5・12・19・25・26・29・30・31日

2019年1月1・2・3・9・15・16・23・30日

◆団体でご利用の方へ（要事前申込）

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。

クイズのこたえ 答 ③ クマガエラは他のキツツキと違って、木の幹に丸い穴をあける他に、木を細長くえぐるようにけずることがあります。それをアイヌが見て、丸木舟の作り方を学んだ、ということになっています。クマガエラが人にヒグマのいどころを教えたり、道案内をしたりして、人を助けた、という言い伝えもあります。 出典：更科源蔵・更科光、1977、コタン生物記Ⅲ



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録